

予算等審査特別委員会 12月12日~13日

予算等審査特別委員会（議長を除く 21 人の議員で構成、委員長は萩野茂男議員、副委員長長織笠孝之議員）は、条例 9 件、予算 4 件、その他 5 件の 18 件について付託を受けて 2 日間の審議を行いました。

今委員会では遠野市職員給与の引き上げ、畜産振興に係る公共牧野の一元化、放牧事業の支援、障害者自立支援介護給付、多重債務者への対応、品目横断的経営安定対策への対応等について活発な質疑が交わされました。その結果、全 18 議案が原案のとおり可決されました。



職員給与の一部改正なる

職員給与一部改正 条例について

【質問】 財政 5 カ年計画が確実に実行されているからといって給与改正に市民の理解は得られないと思うが、また、改正に当たって今回検討した内容は。

【答弁】 市内の誘致企業や進出企業の賃金実態も把握している。また、市内の一般企業の状況も理解している。市の給与水準の現状は、県内 35 市町村のうち 29 番目であり、財源を確保しつつ若年層に重点をおいた給与改正を行うものであり、ご理解をいただきたい。

【質問】 今後の市民所得増や市民生活の向上策をどう進めるのか。

【答弁】 健全財政 5 カ年計画を確実に実行する中で、職員も一丸となって意識改革を行い、市民と共に市の課題や問題解決のため、そして市の活性化のために最善を尽くしていくことを約束する。

保育料の軽減に ついて

【質問】 保育園の保育料の軽減はどうなっているのか。

【答弁】 統一後の保育料階層表の全ての額から 5% 軽減し、さらに 3 歳児未満の額を 10% 軽減し、また第 2 子児童の料金を 10% 軽減する。そして、第 3 子以降児童の保育料は応益負担として月額 4,800 円の有料とする。これは、従来の保育料軽減率 37% から 50% を目指したものである。

【質問】 保育料 50% に対する市の負担は。

【答弁】 従来負担 7,140 万円に対して 3,420 万円の増であり、これを保育協会に補てんする。

【質問】 保育協会の雇用は適正、健全か。

【答弁】 正職員、パートが半々の状況が適正かどうかの判断はできないが、財政的な面を考慮し協会と連携して健全化に取り組んでいるところである。

牧野使用料の統一 について

【質問】 牧野使用料の統一を図ることは理解するが、今回の改正により旧宮守村は値上げになり旧遠野市は値下げになる。旧遠野市の料金を基準にして差額を補てんする方法については検討したのか。

【答弁】 今回の改正は料金の高い安いという考え方よりもコスト計算をした上で、庁内をはじめ生産者も含めて検討した結果である。

【質問】 計画によると今後 3 年間は放牧料金の軽減が図られるが、畜産振興のためにはそれ以後も継続するべきと思うが。

【答弁】 3 年以後となると財政事情や物価の状況等が変わる可能性があるなのでその時点で検討する。

【質問】 放牧頭数の今後の推移についてはどう捉えているか。

【答弁】 増頭すると考えている。

助産院「ねっとゆりかご」の 今後について

【質問】 助産院が 12 月 1 日開設されたが、現状は。

【答弁】 盛岡日赤病院を嘱託医とし、その他 8 医療機関とネットワークを構築している。この 9 機関で市内の出産の 9 割以上をカバーできると考えている。現在の利用状況はおおむね順調に推移しており、過日は県立大船渡病院から監督医である副院長の小笠原先生が来遠、健診業務や消防署との意見交換を行った。

【質問】 全国では妊婦がたらい回しにされ、不幸な事故が発生しているが。

【答弁】 先ず妊婦が健診を受けないということのないよう助産院としての機能の充実・強化を図り、ネットワークを十二分に発揮したい。また、岩手医科大学からは「ハイリスクの妊婦は当大学で対応したい」との熱い協力姿勢を示している。